

太子橋今市駅(地下鉄谷町線・今里筋線) 淀川のワンドを探して



「大阪あそび歩マップ集」
その1 No.013

地下鉄太子橋今市駅

①平太の渡し跡

延宝4年(1676)ころ、平田の渡しは現在の東淀川区豊里と旭区太子橋を結ぶ、個人経営の渡し舟として始まりました。府営となった明治の終わりごろ、渡し賃はおとな2銭、こども1銭、牛馬4銭で、1日の利用客は約100人ほどでした。大正8年(1919)に無料に、昭和23年(1948)には大阪市直営になりました。約300年間、手漕ぎ船でしたが、昭和35年(1960)に発動船が導入され、最盛期には1日に3000人の乗客と670台の自転車を運ぶ、まさに市民の足となりました。しかし昭和45年(1970)、豊里大橋の完成により渡し船は姿を消しました。因みに、旭区の碑は「平太の渡し」と書かれていますが、東淀川区の碑は「平田の渡し」となっています。人名から取った、地名から取ったと諸説あります。

②淀川

近代的な淀川の改修は、オランダ人技師デ・レーケを中心に行った修築工事(1874~88)と沖野忠雄を中心に行った改良工事(1896~1910)の大きく2つに分けられます。前者の工事により川の流れは穏やかに曲げられ、多くのワンドが形成されました。後者の改良工事は、明治18年(1885)の大洪水による甚大な被害を受けた沿岸住民からの強い要望で実現しました。先人の犠牲と努力によって、現在の穏やかな流れの淀川が形づくられました。

③ワンド

ワンドは淀川の水量が増えたときにつながってしまうような、河川敷にできた入り江のことをいいます。ワンドは水の流れがほとんどなく、魚の棲みやすい環境になっており、「淀川らしさ」の象徴ともなっています。



④千人塚

昭和20年(1945)6月7日の大阪大空襲は、甚大な被害をもたらしました。戦死者数万人のうち、身元不明の千数百人の遺体がこのあたりに集められ、茶毘にふされました。

⑤城北公園

旧淀川の河川敷を利用して、昭和9年(1934)、城北公園が開園しました。公園内には城北菖蒲園があり、毎年6月の開花時期には多くの見学者が訪れます。



⑥大阪工業大学エントランス

関西工学専修学校(現・大阪工業大学)の初代校長・理事長は、建築家の片岡安。赤レンガ造りの正門、メモリアルゲートは、片岡が辰野金吾とともに実施設計した大阪市中央公会堂をモチーフにしています。

地下鉄太子橋今市駅

